

【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長 殿
【提出日】	2024年 8 月16日 提出
【計算期間】	第24期中（自 2023年11月17日 至 2024年 5 月16日）
【ファンド名】	J A 資産設計ファンド（安定型） J A 資産設計ファンド（成長型） J A 資産設計ファンド（積極型）
【発行者名】	農林中金全共連アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 牛窪 克彦
【本店の所在の場所】	東京都千代田区九段南一丁目 6 番 5 号
【事務連絡者氏名】	田原 輝行
【連絡場所】	東京都千代田区九段南一丁目 6 番 5 号
【電話番号】	03-5210-8500
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

１【ファンドの運用状況】

2024年 6月28日現在の運用状況は、以下のとおりです。

表示単位未満の端数が生じる場合には、金額は各々切り捨て、比率は各々四捨五入により記載しております。したがって、表示の合計値が個別数値と一致しない場合もあります。

なお、投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

【ＪＡ資産設計ファンド（安定型）】

（１）【投資状況】

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	554,566,575	95.10
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	28,548,059	4.90
合計(純資産総額)		583,114,634	100.00

（２）【運用実績】

【純資産の推移】

期別	純資産総額（円）		1万口当たり純資産額（円）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第14計算期間末（2014年11月17日）	471,422,816	476,683,458	12,546	12,686
第15計算期間末（2015年11月16日）	457,239,548	461,482,117	12,933	13,053
第16計算期間末（2016年11月16日）	463,325,913	463,689,939	12,728	12,738
第17計算期間末（2017年11月16日）	575,151,889	579,807,372	13,590	13,700
第18計算期間末（2018年11月16日）	687,477,771	687,477,771	13,323	13,323
第19計算期間末（2019年11月18日）	721,719,278	727,025,281	13,602	13,702
第20計算期間末（2020年11月16日）	726,973,963	731,207,443	13,738	13,818
第21計算期間末（2021年11月16日）	636,397,535	641,634,523	14,582	14,702
第22計算期間末（2022年11月16日）	588,595,934	588,595,934	14,181	14,181
第23計算期間末（2023年11月16日）	602,825,407	608,141,657	14,741	14,871
2023年 6月末日	614,067,408	—	14,906	—
7月末日	604,194,856	—	14,815	—
8月末日	605,577,636	—	14,823	—
9月末日	603,123,820	—	14,727	—
10月末日	593,080,250	—	14,442	—
11月末日	606,348,239	—	14,780	—
12月末日	567,803,281	—	14,838	—
2024年 1月末日	571,362,712	—	15,092	—
2月末日	578,139,374	—	15,393	—
3月末日	583,517,474	—	15,626	—
4月末日	579,857,189	—	15,500	—
5月末日	576,658,528	—	15,439	—
6月末日	583,114,634	—	15,588	—

【分配の推移】

期	計算期間	1万口当たりの分配金（円）
第14計算期間末	2013年11月19日～2014年11月17日	140
第15計算期間末	2014年11月18日～2015年11月16日	120
第16計算期間末	2015年11月17日～2016年11月16日	10
第17計算期間末	2016年11月17日～2017年11月16日	110
第18計算期間末	2017年11月17日～2018年11月16日	0
第19計算期間末	2018年11月17日～2019年11月18日	100
第20計算期間末	2019年11月19日～2020年11月16日	80
第21計算期間末	2020年11月17日～2021年11月16日	120
第22計算期間末	2021年11月17日～2022年11月16日	0
第23計算期間末	2022年11月17日～2023年11月16日	130

【収益率の推移】

期	計算期間	収益率（％）
第14計算期間末	2013年11月19日～2014年11月17日	6.8
第15計算期間末	2014年11月18日～2015年11月16日	4.0
第16計算期間末	2015年11月17日～2016年11月16日	1.5
第17計算期間末	2016年11月17日～2017年11月16日	7.6
第18計算期間末	2017年11月17日～2018年11月16日	2.0
第19計算期間末	2018年11月17日～2019年11月18日	2.8
第20計算期間末	2019年11月19日～2020年11月16日	1.6
第21計算期間末	2020年11月17日～2021年11月16日	7.0
第22計算期間末	2021年11月17日～2022年11月16日	2.7
第23計算期間末	2022年11月17日～2023年11月16日	4.9
第24中間計算期間末	2023年11月17日～2024年 5月16日	5.0

(注) 各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落ち）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ち。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。

【ＪＡ資産設計ファンド（成長型）】

（１）【投資状況】

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	832,454,751	95.14
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	42,532,228	4.86
合計(純資産総額)		874,986,979	100.00

（２）【運用実績】

【純資産の推移】

期別	純資産総額（円）		1万口当たり純資産額（円）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第14計算期間末（2014年11月17日）	708,230,304	717,469,424	13,798	13,978
第15計算期間末（2015年11月16日）	666,224,467	674,026,609	14,516	14,686
第16計算期間末（2016年11月16日）	621,390,340	623,181,472	13,877	13,917
第17計算期間末（2017年11月16日）	713,688,197	722,351,202	15,653	15,843
第18計算期間末（2018年11月16日）	912,131,247	913,936,051	15,162	15,192
第19計算期間末（2019年11月18日）	941,599,875	951,914,533	15,519	15,689
第20計算期間末（2020年11月16日）	858,662,489	866,735,882	15,954	16,104
第21計算期間末（2021年11月16日）	851,748,444	861,343,037	17,755	17,955
第22計算期間末（2022年11月16日）	805,448,572	807,769,754	17,350	17,400
第23計算期間末（2023年11月16日）	850,436,909	861,653,745	18,954	19,204
2023年 6月末日	860,127,646	—	18,838	—
7月末日	858,809,950	—	18,839	—
8月末日	862,787,987	—	18,963	—
9月末日	852,705,402	—	18,853	—
10月末日	834,419,796	—	18,444	—
11月末日	859,412,111	—	18,959	—
12月末日	829,601,603	—	19,030	—
2024年 1月末日	844,417,665	—	19,685	—
2月末日	867,202,638	—	20,308	—
3月末日	887,277,441	—	20,843	—
4月末日	879,533,201	—	20,720	—
5月末日	886,481,636	—	20,804	—
6月末日	874,986,979	—	21,125	—

【分配の推移】

期	計算期間	1万口当たりの分配金（円）
第14計算期間末	2013年11月19日～2014年11月17日	180
第15計算期間末	2014年11月18日～2015年11月16日	170

第16計算期間末	2015年11月17日～2016年11月16日	40
第17計算期間末	2016年11月17日～2017年11月16日	190
第18計算期間末	2017年11月17日～2018年11月16日	30
第19計算期間末	2018年11月17日～2019年11月18日	170
第20計算期間末	2019年11月19日～2020年11月16日	150
第21計算期間末	2020年11月17日～2021年11月16日	200
第22計算期間末	2021年11月17日～2022年11月16日	50
第23計算期間末	2022年11月17日～2023年11月16日	250

【収益率の推移】

期	計算期間	収益率（％）
第14計算期間末	2013年11月19日～2014年11月17日	10.1
第15計算期間末	2014年11月18日～2015年11月16日	6.4
第16計算期間末	2015年11月17日～2016年11月16日	4.1
第17計算期間末	2016年11月17日～2017年11月16日	14.2
第18計算期間末	2017年11月17日～2018年11月16日	2.9
第19計算期間末	2018年11月17日～2019年11月18日	3.5
第20計算期間末	2019年11月19日～2020年11月16日	3.8
第21計算期間末	2020年11月17日～2021年11月16日	12.5
第22計算期間末	2021年11月17日～2022年11月16日	2.0
第23計算期間末	2022年11月17日～2023年11月16日	10.7
第24中間計算期間末	2023年11月17日～2024年 5月16日	9.4

(注) 各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落ち）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ち。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。

【ＪＡ資産設計ファンド（積極型）】

（１）【投資状況】

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	834,548,366	95.20
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	42,112,237	4.80
合計(純資産総額)		876,660,603	100.00

（２）【運用実績】

【純資産の推移】

期別	純資産総額（円）		1万口当たり純資産額（円）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第14計算期間末（2014年11月17日）	781,591,252	793,077,497	14,290	14,500
第15計算期間末（2015年11月16日）	784,228,679	795,017,219	15,265	15,475
第16計算期間末（2016年11月16日）	706,853,280	709,362,858	14,083	14,133
第17計算期間末（2017年11月16日）	774,044,743	785,244,459	16,587	16,827
第18計算期間末（2018年11月16日）	781,379,231	783,338,327	15,954	15,994
第19計算期間末（2019年11月18日）	790,353,745	799,131,228	16,208	16,388
第20計算期間末（2020年11月16日）	760,356,295	769,386,380	16,841	17,041
第21計算期間末（2021年11月16日）	808,647,888	819,759,088	19,650	19,920
第22計算期間末（2022年11月16日）	808,495,119	811,830,388	19,393	19,473
第23計算期間末（2023年11月16日）	791,343,938	804,229,003	22,110	22,470
2023年 6月末日	799,136,348	—	21,634	—
7月末日	784,327,372	—	21,770	—
8月末日	794,926,464	—	22,001	—
9月末日	784,748,668	—	21,878	—
10月末日	764,390,607	—	21,341	—
11月末日	798,362,503	—	22,057	—
12月末日	774,500,781	—	22,149	—
2024年 1月末日	803,498,033	—	23,256	—
2月末日	832,246,509	—	24,245	—
3月末日	863,456,358	—	25,148	—
4月末日	853,925,772	—	25,057	—
5月末日	861,316,089	—	25,368	—
6月末日	876,660,603	—	25,866	—

【分配の推移】

期	計算期間	1万口当たりの分配金（円）
第14計算期間末	2013年11月19日～2014年11月17日	210
第15計算期間末	2014年11月18日～2015年11月16日	210

第16計算期間末	2015年11月17日～2016年11月16日	50
第17計算期間末	2016年11月17日～2017年11月16日	240
第18計算期間末	2017年11月17日～2018年11月16日	40
第19計算期間末	2018年11月17日～2019年11月18日	180
第20計算期間末	2019年11月19日～2020年11月16日	200
第21計算期間末	2020年11月17日～2021年11月16日	270
第22計算期間末	2021年11月17日～2022年11月16日	80
第23計算期間末	2022年11月17日～2023年11月16日	360

【収益率の推移】

期	計算期間	収益率（％）
第14計算期間末	2013年11月19日～2014年11月17日	13.9
第15計算期間末	2014年11月18日～2015年11月16日	8.3
第16計算期間末	2015年11月17日～2016年11月16日	7.4
第17計算期間末	2016年11月17日～2017年11月16日	19.5
第18計算期間末	2017年11月17日～2018年11月16日	3.6
第19計算期間末	2018年11月17日～2019年11月18日	2.7
第20計算期間末	2019年11月19日～2020年11月16日	5.1
第21計算期間末	2020年11月17日～2021年11月16日	18.3
第22計算期間末	2021年11月17日～2022年11月16日	0.9
第23計算期間末	2022年11月17日～2023年11月16日	15.9
第24中間計算期間末	2023年11月17日～2024年 5月16日	13.9

(注) 各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落ち）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ち。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。

（参考）

ＪＡ日本株式マザーファンド

投資状況

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	日本	26,794,509,430	99.47
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	141,810,129	0.53
合計(純資産総額)		26,936,319,559	100.00

ＪＡ日本債券マザーファンド

投資状況

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	日本	44,692,435,600	75.65
地方債証券	日本	1,979,067,000	3.35
特殊債券	日本	2,018,294,000	3.42
社債券	日本	10,151,461,000	17.18
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	237,527,500	0.40
合計(純資産総額)		59,078,785,100	100.00

ＪＡ海外株式マザーファンド

投資状況

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	アメリカ	21,412,182,686	61.28
	カナダ	759,482,321	2.17
	ドイツ	2,099,429,886	6.01
	フランス	755,144,818	2.16
	オランダ	860,772,237	2.46
	スペイン	289,217,538	0.83
	アイルランド	285,933,133	0.82
	イギリス	2,078,505,220	5.95
	スイス	719,474,716	2.06
	スウェーデン	749,155,608	2.14
	デンマーク	189,912,492	0.54
	ケイマン	198,330,012	0.57
	オーストラリア	459,015,654	1.31
	バミューダ	1,249,833,788	3.58
	シンガポール	1,304,324,068	3.73
	イスラエル	194,074,710	0.56
	ジャージー	463,539,018	1.33
	小計	34,068,327,905	97.50

現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	873,292,205	2.50
合計(純資産総額)		34,941,620,110	100.00

J A 海外債券マザーファンド

投資状況

資産の種類	国 / 地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	アメリカ	5,509,485,902	42.46
	カナダ	108,337,640	0.83
	メキシコ	166,914,852	1.29
	ドイツ	621,796,390	4.79
	イタリア	794,265,692	6.12
	フランス	748,808,718	5.77
	オランダ	156,346,570	1.21
	スペイン	569,264,248	4.39
	ベルギー	177,262,225	1.37
	オーストリア	111,014,778	0.86
	フィンランド	48,893,335	0.38
	アイルランド	42,973,633	0.33
	イギリス	391,115,612	3.01
	スウェーデン	16,570,950	0.13
	ノルウェー	22,328,820	0.17
	デンマーク	28,706,088	0.22
	ポーランド	31,272,274	0.24
	オーストラリア	179,019,555	1.38
	ニュージーランド	97,928,775	0.75
	シンガポール	77,684,448	0.60
	中国	1,150,963,650	8.87
	小計	11,050,954,155	85.17
地方債証券	カナダ	84,194,383	0.65
特殊債券	カナダ	292,839,907	2.26
	オランダ	88,713,173	0.68
	オーストラリア	31,527,467	0.24
	国際機関	119,941,706	0.92
	小計	533,022,253	4.11
社債券	アメリカ	668,537,237	5.15
	カナダ	163,066,817	1.26
	フランス	154,982,900	1.19
	オランダ	39,676,901	0.31
	デンマーク	20,160,432	0.16
	小計	1,046,424,287	8.07
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	—	260,080,450	2.00
合計(純資産総額)		12,974,675,528	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国 / 地域	時価合計（円）	投資比率（％）
為替予約取引	買建	—	6,670,716,453	51.41
	売建	—	6,666,574,340	51.38

(注) 為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

２【設定及び解約の実績】

ＪＡ資産設計ファンド（安定型）

期	計算期間	設定口数（口）	解約口数（口）	発行済み口数（口）
第14計算期間末	2013年11月19日～2014年11月17日	60,617,413	200,418,968	375,760,173
第15計算期間末	2014年11月18日～2015年11月16日	49,194,140	71,406,868	353,547,445
第16計算期間末	2015年11月17日～2016年11月16日	63,192,462	52,713,226	364,026,681
第17計算期間末	2016年11月17日～2017年11月16日	155,144,803	95,945,691	423,225,793
第18計算期間末	2017年11月17日～2018年11月16日	215,805,451	123,034,652	515,996,592
第19計算期間末	2018年11月17日～2019年11月18日	134,656,567	120,052,822	530,600,337
第20計算期間末	2019年11月19日～2020年11月16日	66,969,415	68,384,724	529,185,028
第21計算期間末	2020年11月17日～2021年11月16日	35,474,957	128,244,246	436,415,739
第22計算期間末	2021年11月17日～2022年11月16日	32,521,472	53,864,536	415,072,675
第23計算期間末	2022年11月17日～2023年11月16日	26,217,409	32,347,721	408,942,363
第24中間計算期間末	2023年11月17日～2024年 5月16日	11,294,961	46,260,754	373,976,570

ＪＡ資産設計ファンド（成長型）

期	計算期間	設定口数（口）	解約口数（口）	発行済み口数（口）
第14計算期間末	2013年11月19日～2014年11月17日	55,165,812	164,561,703	513,284,483
第15計算期間末	2014年11月18日～2015年11月16日	42,667,535	97,002,452	458,949,566
第16計算期間末	2015年11月17日～2016年11月16日	46,988,804	58,155,123	447,783,247
第17計算期間末	2016年11月17日～2017年11月16日	112,936,764	104,772,366	455,947,645
第18計算期間末	2017年11月17日～2018年11月16日	236,953,341	91,299,344	601,601,642
第19計算期間末	2018年11月17日～2019年11月18日	123,394,357	118,251,372	606,744,627
第20計算期間末	2019年11月19日～2020年11月16日	45,869,110	114,387,528	538,226,209
第21計算期間末	2020年11月17日～2021年11月16日	35,461,543	93,958,057	479,729,695
第22計算期間末	2021年11月17日～2022年11月16日	31,177,605	46,670,714	464,236,586
第23計算期間末	2022年11月17日～2023年11月16日	24,166,191	39,729,334	448,673,443
第24中間計算期間末	2023年11月17日～2024年 5月16日	12,592,435	36,010,447	425,255,431

ＪＡ資産設計ファンド（積極型）

期	計算期間	設定口数（口）	解約口数（口）	発行済み口数（口）
第14計算期間末	2013年11月19日～2014年11月17日	57,580,274	207,787,726	546,964,087
第15計算期間末	2014年11月18日～2015年11月16日	48,390,698	81,614,781	513,740,004
第16計算期間末	2015年11月17日～2016年11月16日	36,898,645	48,722,983	501,915,666
第17計算期間末	2016年11月17日～2017年11月16日	56,436,777	91,697,609	466,654,834
第18計算期間末	2017年11月17日～2018年11月16日	123,363,879	100,244,683	489,774,030

第19計算期間末	2018年11月17日～2019年11月18日	64,032,646	66,168,721	487,637,955
第20計算期間末	2019年11月19日～2020年11月16日	37,484,419	73,618,107	451,504,267
第21計算期間末	2020年11月17日～2021年11月16日	27,422,729	67,401,045	411,525,951
第22計算期間末	2021年11月17日～2022年11月16日	35,687,442	30,304,756	416,908,637
第23計算期間末	2022年11月17日～2023年11月16日	21,674,201	80,664,343	357,918,495
第24中間計算期間末	2023年11月17日～2024年 5月16日	12,395,182	29,267,420	341,046,257

3【ファンドの経理状況】

- (1) 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに同規則第38条の3及び第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間計算期間（2023年11月17日から2024年 5月16日まで）の中間財務諸表について、PwC Japan有限責任監査法人による中間監査を受けております。

【中間財務諸表】

【ＪＡ資産設計ファンド（安定型）】

（１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	前計算期間末 2023年11月16日現在	当中間計算期間末 2024年 5月16日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	38,528,236	31,420,624
親投資信託受益証券	573,187,717	550,839,507
未収利息	-	64
流動資産合計	611,715,953	582,260,195
資産合計	611,715,953	582,260,195
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	5,316,250	-
未払解約金	203,708	-
未払受託者報酬	335,110	318,214
未払委託者報酬	3,015,963	2,863,890
未払利息	35	-
その他未払費用	19,480	9,489
流動負債合計	8,890,546	3,191,593
負債合計	8,890,546	3,191,593
純資産の部		
元本等		
元本	408,942,363	373,976,570
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（　）	193,883,044	205,092,032
（分配準備積立金）	67,193,986	59,812,815
元本等合計	602,825,407	579,068,602
純資産合計	602,825,407	579,068,602
負債純資産合計	611,715,953	582,260,195

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前中間計算期間 自 2022年11月17日 至 2023年 5月16日	当中間計算期間 自 2023年11月17日 至 2024年 5月16日
営業収益		
受取利息	81	3,655
有価証券売買等損益	16,035,553	31,371,678
営業収益合計	16,035,634	31,375,333
営業費用		
支払利息	4,657	1,192
受託者報酬	318,459	318,214
委託者報酬	2,866,041	2,863,890
その他費用	10,848	9,489
営業費用合計	3,200,005	3,192,785
営業利益又は営業損失（ ）	12,835,629	28,182,548
経常利益又は経常損失（ ）	12,835,629	28,182,548
中間純利益又は中間純損失（ ）	12,835,629	28,182,548
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	103,814	865,276
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	173,523,259	193,883,044
剰余金増加額又は欠損金減少額	4,932,905	5,711,777
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	4,932,905	5,711,777
剰余金減少額又は欠損金増加額	5,163,593	21,820,061
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	5,163,593	21,820,061
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	186,232,014	205,092,032

（３）【中間注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2. 収益及び費用の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。

（中間貸借対照表に関する注記）

項目		前計算期間末 2023年11月16日現在	当中間計算期間末 2024年 5月16日現在
1.	投資信託財産に係る元本の状況		
	期首元本額	415,072,675円	408,942,363円
	期中追加設定元本額	26,217,409円	11,294,961円
	期中一部解約元本額	32,347,721円	46,260,754円
2.	中間計算期間の末日における受益権の総数	408,942,363口	373,976,570口
3.	一口当たり純資産額 (一万口当たり純資産額)	1.4741円 (14,741円)	1.5484円 (15,484円)

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

項目	前中間計算期間 自 2022年11月17日 至 2023年 5月16日	当中間計算期間 自 2023年11月17日 至 2024年 5月16日
信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁している額	計算期間を通じて毎日、ＪＡ海外株式マザーファンドの信託財産の純資産総額に年10,000分の75以内の率を乗じて得た報酬の総額に、親投資信託の受益権総口数に占める信託財産に属する親投資信託の受益権口数の持分割合を乗じて得た額及び、ＪＡ海外債券マザーファンドの信託財産の純資産総額に年10,000分の50以内の率を乗じて得た報酬の総額に、親投資信託の受益権総口数に占める信託財産に属する親投資信託の受益権口数の持分割合を乗じて得た額とします。	同左

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	前計算期間末 2023年11月16日現在	当中間計算期間末 2024年 5月16日現在
1．中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	中間貸借対照表計上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2．時価の算定方法	親投資信託受益証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権 短期で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3．金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（デリバティブ取引等に関する注記）

該当事項はありません。

【ＪＡ資産設計ファンド（成長型）】

（１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	前計算期間末 2023年11月16日現在	当中間計算期間末 2024年 5月16日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	58,629,181	47,816,411
親投資信託受益証券	811,765,815	839,571,827
未収利息	-	98
流動資産合計	870,394,996	887,388,336
資産合計	870,394,996	887,388,336
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	11,216,836	-
未払解約金	3,513,989	-
未払受託者報酬	472,741	470,384
未払委託者報酬	4,727,332	4,703,739
未払利息	53	-
その他未払費用	27,136	14,053
流動負債合計	19,958,087	5,188,176
負債合計	19,958,087	5,188,176
純資産の部		
元本等		
元本	448,673,443	425,255,431
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（　）	401,763,466	456,944,729
（分配準備積立金）	202,292,472	186,452,247
元本等合計	850,436,909	882,200,160
純資産合計	850,436,909	882,200,160
負債純資産合計	870,394,996	887,388,336

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前中間計算期間 自 2022年11月17日 至 2023年 5月16日	当中間計算期間 自 2023年11月17日 至 2024年 5月16日
営業収益		
受取利息	115	5,551
有価証券売買等損益	33,903,013	82,050,372
営業収益合計	33,903,128	82,055,923
営業費用		
支払利息	6,569	1,761
受託者報酬	435,965	470,384
委託者報酬	4,359,644	4,703,739
その他費用	14,939	14,053
営業費用合計	4,817,117	5,189,937
営業利益又は営業損失（ ）	29,086,011	76,865,986
経常利益又は経常損失（ ）	29,086,011	76,865,986
中間純利益又は中間純損失（ ）	29,086,011	76,865,986
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	69,564	1,478,652
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	341,211,986	401,763,466
剰余金増加額又は欠損金減少額	10,060,132	11,922,360
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	10,060,132	11,922,360
剰余金減少額又は欠損金増加額	11,428,181	32,128,431
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	11,428,181	32,128,431
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	368,999,512	456,944,729

（３）【中間注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2. 収益及び費用の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。

（中間貸借対照表に関する注記）

項目		前計算期間末 2023年11月16日現在	当中間計算期間末 2024年 5月16日現在
1.	投資信託財産に係る元本の状況		
	期首元本額	464,236,586円	448,673,443円
	期中追加設定元本額	24,166,191円	12,592,435円
	期中一部解約元本額	39,729,334円	36,010,447円
2.	中間計算期間の末日における受益権の総数	448,673,443口	425,255,431口
3.	一口当たり純資産額 (一万口当たり純資産額)	1.8954円 (18,954円)	2.0745円 (20,745円)

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

項目	前中間計算期間 自 2022年11月17日 至 2023年 5月16日	当中間計算期間 自 2023年11月17日 至 2024年 5月16日
信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁している額	計算期間を通じて毎日、ＪＡ海外株式マザーファンドの信託財産の純資産総額に年10,000分の75以内の率を乗じて得た報酬の総額に、親投資信託の受益権総口数に占める信託財産に属する親投資信託の受益権口数の持分割合を乗じて得た額及び、ＪＡ海外債券マザーファンドの信託財産の純資産総額に年10,000分の50以内の率を乗じて得た報酬の総額に、親投資信託の受益権総口数に占める信託財産に属する親投資信託の受益権口数の持分割合を乗じて得た額とします。	同左

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	前計算期間末 2023年11月16日現在	当中間計算期間末 2024年 5月16日現在
1．中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	中間貸借対照表計上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2．時価の算定方法	親投資信託受益証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権 短期で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3．金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（デリバティブ取引等に関する注記）

該当事項はありません。

【ＪＡ資産設計ファンド（積極型）】

（１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	前計算期間末 2023年11月16日現在	当中間計算期間末 2024年 5月16日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	57,140,148	46,749,081
親投資信託受益証券	752,780,470	817,649,705
未収入金	235,986	-
未収利息	-	96
流動資産合計	810,156,604	864,398,882
資産合計	810,156,604	864,398,882
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	12,885,065	-
未払解約金	248,408	-
未払受託者報酬	434,919	447,282
未払委託者報酬	5,218,936	5,367,401
未払利息	52	-
その他未払費用	25,286	13,362
流動負債合計	18,812,666	5,828,045
負債合計	18,812,666	5,828,045
純資産の部		
元本等		
元本	357,918,495	341,046,257
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	433,425,443	517,524,580
（分配準備積立金）	275,963,945	253,979,851
元本等合計	791,343,938	858,570,837
純資産合計	791,343,938	858,570,837
負債純資産合計	810,156,604	864,398,882

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前中間計算期間 自 2022年11月17日 至 2023年 5月16日	当中間計算期間 自 2023年11月17日 至 2024年 5月16日
営業収益		
受取利息	114	5,434
有価証券売買等損益	36,781,387	111,251,157
営業収益合計	36,781,501	111,256,591
営業費用		
支払利息	6,391	1,633
受託者報酬	412,133	447,282
委託者報酬	4,945,587	5,367,401
その他費用	14,211	13,362
営業費用合計	5,378,322	5,829,678
営業利益又は営業損失（ ）	31,403,179	105,426,913
経常利益又は経常損失（ ）	31,403,179	105,426,913
中間純利益又は中間純損失（ ）	31,403,179	105,426,913
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	1,998,808	2,055,671
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	391,586,482	433,425,443
剰余金増加額又は欠損金減少額	11,300,673	16,066,242
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	11,300,673	16,066,242
剰余金減少額又は欠損金増加額	52,435,954	35,338,347
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	52,435,954	35,338,347
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	383,853,188	517,524,580

（３）【中間注記表】

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、時価で評価しております。 時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2. 収益及び費用の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。

（中間貸借対照表に関する注記）

項目		前計算期間末 2023年11月16日現在	当中間計算期間末 2024年 5月16日現在
1.	投資信託財産に係る元本の状況		
	期首元本額	416,908,637円	357,918,495円
	期中追加設定元本額	21,674,201円	12,395,182円
	期中一部解約元本額	80,664,343円	29,267,420円
2.	中間計算期間の末日における受益権の総数	357,918,495口	341,046,257口
3.	一口当たり純資産額 (一万口当たり純資産額)	2.2110円 (22,110円)	2.5175円 (25,175円)

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

項目	前中間計算期間 自 2022年11月17日 至 2023年 5月16日	当中間計算期間 自 2023年11月17日 至 2024年 5月16日
信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁している額	計算期間を通じて毎日、ＪＡ海外株式マザーファンドの信託財産の純資産総額に年10,000分の75以内の率を乗じて得た報酬の総額に、親投資信託の受益権総口数に占める信託財産に属する親投資信託の受益権口数の持分割合を乗じて得た額及び、ＪＡ海外債券マザーファンドの信託財産の純資産総額に年10,000分の50以内の率を乗じて得た報酬の総額に、親投資信託の受益権総口数に占める信託財産に属する親投資信託の受益権口数の持分割合を乗じて得た額とします。	同左

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	前計算期間末 2023年11月16日現在	当中間計算期間末 2024年 5月16日現在
1．中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	中間貸借対照表計上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2．時価の算定方法	親投資信託受益証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権 短期で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3．金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（デリバティブ取引等に関する注記）

該当事項はありません。

（参考情報）

当ファンドは、「ＪＡ日本株式マザーファンド」受益証券、「ＪＡ日本債券マザーファンド」受益証券、「ＪＡ海外株式マザーファンド」受益証券及び「ＪＡ海外債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券であります。

なお、同マザーファンドの状況は次のとおりであります。

「ＪＡ日本株式マザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

（１）貸借対照表

	2023年11月16日現在	2024年 5月16日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	46,197,723	47,263,674
株式	23,890,114,030	25,808,919,950
未収入金	210,910,771	526,256,080
未収配当金	216,610,478	248,260,030
未収利息	-	97
流動資産合計	24,363,833,002	26,630,699,831
資産合計	24,363,833,002	26,630,699,831
負債の部		
流動負債		
未払金	212,119,963	522,595,142
未払解約金	111,783	-
未払利息	42	-
流動負債合計	212,231,788	522,595,142
負債合計	212,231,788	522,595,142
純資産の部		
元本等		
元本	8,002,555,743	7,311,852,171
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	16,149,045,471	18,796,252,518
元本等合計	24,151,601,214	26,108,104,689
純資産合計	24,151,601,214	26,108,104,689
負債純資産合計	24,363,833,002	26,630,699,831

（２）注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2. 収益及び費用の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。

（貸借対照表に関する注記）

項目		2023年11月16日現在	2024年 5月16日現在
1.	投資信託財産に係る元本の状況		
	本書における開示対象ファンドの期首	2022年11月17日	2023年11月17日
	同期首元本額	12,882,239,036円	8,002,555,743円
	同期中追加設定元本額	1,383,808,651円	59,779,581円
	同期中一部解約元本額	6,263,491,944円	750,483,153円
	元本の内訳		
	ＪＡ日本株式ファンド	150,519,285円	140,465,948円
	ＪＡ資産設計ファンド（安定型）	40,242,250円	32,218,294円
	ＪＡ資産設計ファンド（成長型）	99,457,826円	85,411,594円
	ＪＡ資産設計ファンド（積極型）	118,257,712円	106,098,364円
	NZAM 日本株式アクティブ戦略私募（適格機関投資家専用）	172,016,376円	171,398,806円
	ＪＡ日本株式私募ファンド（適格機関投資家専用）	3,739,395,211円	3,719,665,050円
	ＪＡグローバルバランス私募ファンド（適格機関投資家専用）	3,104,644,834円	2,558,768,968円
	NZAM バランスファンド1-B私募2108（適格機関投資家専用）	578,022,249円	497,825,147円
	合計	8,002,555,743円	7,311,852,171円
2.	本書における開示対象ファンドの中間計算期間の末日における受益権の総数	8,002,555,743口	7,311,852,171口
3.	一口当たり純資産額 (一万口当たり純資産額)	3.0180円 (30,180円)	3.5707円 (35,707円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	2023年11月16日現在	2024年 5月16日現在
1．貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2．時価の算定方法	株式 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権 短期で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3．金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（デリバティブ取引等に関する注記）

該当事項はありません。

「ＪＡ日本債券マザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

（１）貸借対照表

	2023年11月16日現在	2024年 5月16日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
金銭信託	955,900	266,610
コール・ローン	530,256,015	291,429,062
国債証券	42,511,201,300	44,731,082,000
地方債証券	2,506,325,000	1,990,550,000
特殊債券	3,135,211,000	2,022,646,000
社債券	11,788,119,000	9,976,755,000
未収利息	88,885,605	100,032,622
前払費用	9,576,097	8,085,414
流動資産合計	60,570,529,917	59,120,846,708
資産合計	60,570,529,917	59,120,846,708
負債の部		
流動負債		
未払解約金	37,261	1,400,624
未払利息	487	-
流動負債合計	37,748	1,400,624
負債合計	37,748	1,400,624
純資産の部		
元本等		
元本	45,660,614,196	44,995,917,275
剰余金		
剰余金又は欠損金（　）	14,909,877,973	14,123,528,809
元本等合計	60,570,492,169	59,119,446,084
純資産合計	60,570,492,169	59,119,446,084
負債純資産合計	60,570,529,917	59,120,846,708

（２）注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価は以下のいずれかから入手した価額によっております。 日本証券業協会発表の店頭売買参考統計値（平均値） 金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用いたしません。） 価格情報会社の提供する価額
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、原則として計算期間末日に知り得る直近の日の主たる取引所の発表する清算値段、又は最終相場に基づいて評価しております。
3. 収益及び費用の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。

（貸借対照表に関する注記）

項目		2023年11月16日現在	2024年 5月16日現在
1.	投資信託財産に係る元本の状況		
	本書における開示対象ファンドの期首	2022年11月17日	2023年11月17日
	同期首元本額	48,697,537,985円	45,660,614,196円
	同期中追加設定元本額	6,108,050,752円	2,275,639,017円
	同期中一部解約元本額	9,144,974,541円	2,940,335,938円
	元本の内訳		
	ＪＡ日本債券ファンド	1,233,516,872円	1,322,039,985円
	ＪＡ資産設計ファンド（安定型）	271,768,020円	262,102,452円
	ＪＡ資産設計ファンド（成長型）	223,890,010円	231,622,358円
	ＪＡ資産設計ファンド（積極型）	88,736,123円	95,915,566円
	農林中金＜パートナーズ＞日米６資産分散ファンド（安定運用コース）	3,645,969,630円	3,642,847,183円
	農林中金＜パートナーズ＞日米６資産分散ファンド（資産形成コース）	3,861,790,172円	4,038,841,619円
	ＪＡ日本債券私募ファンド（適格機関投資家専用）	5,663,333,173円	5,695,784,387円
	ＪＡグローバルバランス私募ファンド（適格機関投資家専用）	30,671,610,196円	29,706,763,725円
	合計	45,660,614,196円	44,995,917,275円
2.	本書における開示対象ファンドの中間計算期間の末日における受益権の総数	45,660,614,196口	44,995,917,275口
3.	一口当たり純資産額 (一万口当たり純資産額)	1.3265円 (13,265円)	1.3139円 (13,139円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	2023年11月16日現在	2024年 5月16日現在
1．貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2．時価の算定方法	国債証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 地方債証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 特殊債券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 社債券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権 短期で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3．金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（デリバティブ取引等に関する注記）

該当事項はありません。

「ＪＡ海外株式マザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

（１）貸借対照表

	2023年11月16日現在	2024年 5月16日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	355,579,902	534,424,825
コール・ローン	88,315,508	92,836,376
株式	28,247,010,400	33,000,217,760
派生商品評価勘定	-	7,548,502
未収入金	-	2,632,230,494
未収配当金	18,844,730	35,967,761
未収利息	-	191
流動資産合計	28,709,750,540	36,303,225,909
資産合計	28,709,750,540	36,303,225,909
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	-	7,845,874
未払金	55,878,535	2,436,466,094
未払解約金	3,356,696	-
未払利息	81	-
流動負債合計	59,235,312	2,444,311,968
負債合計	59,235,312	2,444,311,968
純資産の部		
元本等		
元本	4,978,002,214	4,722,877,351
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	23,672,513,014	29,136,036,590
元本等合計	28,650,515,228	33,858,913,941
純資産合計	28,650,515,228	33,858,913,941
負債純資産合計	28,709,750,540	36,303,225,909

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、金融商品取引所における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。
3. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
4. 収益及び費用の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。
5. その他	外貨建取引等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。

（貸借対照表に関する注記）

項目		2023年11月16日現在	2024年 5月16日現在
1.	投資信託財産に係る元本の状況		
	本書における開示対象ファンドの期首	2022年11月17日	2023年11月17日
	同期首元本額	8,489,773,334円	4,978,002,214円
	同期中追加設定元本額	1,023,099,481円	70,878,275円
	同期中一部解約元本額	4,534,870,601円	326,003,138円
	元本の内訳		
	ＪＡ海外株式ファンド	162,406,327円	160,930,348円
	ＪＡ資産設計ファンド（安定型）	10,602,049円	8,601,772円
	ＪＡ資産設計ファンド（成長型）	22,459,563円	19,544,839円
	ＪＡ資産設計ファンド（積極型）	34,618,017円	31,478,790円
	ＪＡ海外株式私募ファンド（適格機関投資家専用）	3,270,901,899円	3,297,526,271円
	ＪＡグローバルバランス私募ファンド（適格機関投資家専用）	1,065,945,929円	856,298,006円
	NZAM バランスファンド1-B私募1902（適格機関投資家専用）	248,241,310円	209,936,041円
	NZAM バランスファンド1-B私募2108（適格機関投資家専用）	162,827,120円	138,561,284円
	合計	4,978,002,214円	4,722,877,351円
2.	本書における開示対象ファンドの中間計算期間の末日における受益権の総数	4,978,002,214口	4,722,877,351口
3.	一口当たり純資産額 (一万口当たり純資産額)	5.7554円 (57,554円)	7.1691円 (71,691円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	2023年11月16日現在	2024年 5月16日現在
1．貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2．時価の算定方法	株式 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権 短期で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	株式 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 為替予約取引 「（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権 短期で決済されるため、帳簿価額を時価としております。
3．金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

（通貨関連）

（2023年11月16日現在）

該当事項はありません。

（2024年 5月16日現在）

（単位：円）

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建				
	米ドル	478,842,606	-	473,327,973	5,514,633
	スウェーデン クローネ	163,271,498	-	160,940,257	2,331,241
	売建				
	米ドル	163,271,498	-	160,545,543	2,725,955
	カナダドル	72,327,758	-	71,441,103	886,655
	ユーロ	346,943,134	-	343,502,797	3,440,337
	英ポンド	59,571,714	-	59,076,159	495,555
合計		1,284,228,208	-	1,268,833,832	297,372

（注）時価の算定方法

1. 対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該仲値で評価しております。

為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち受渡日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合には、発表されているもので為替予約の受渡日に最も近い先物相場の仲値で評価しております。

2. 対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

3. 上記の算定方法にて、適正な時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。

上記取引でヘッジ会計が適用されているものではありません。

「ＪＡ海外債券マザーファンド」の状況

なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

（１）貸借対照表

	2023年11月16日現在	2024年 5月16日現在
	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	72,712,169	98,445,861
コール・ローン	90,281,980	100,604,315
国債証券	9,784,729,691	10,384,592,874
地方債証券	127,359,704	80,940,437
特殊債券	646,677,106	473,085,533
社債券	1,261,537,523	1,030,257,429
派生商品評価勘定	25,493,601	55,256,965
未収入金	123,221,833	697,468,985
未収利息	73,922,909	65,770,685
前払費用	30,544,033	43,688,795
流動資産合計	12,236,480,549	13,030,111,879
資産合計	12,236,480,549	13,030,111,879
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	19,542,020	50,244,972
未払金	74,246,807	466,684,595
未払解約金	24,840	10,141
未払利息	83	-
流動負債合計	93,813,750	516,939,708
負債合計	93,813,750	516,939,708
純資産の部		
元本等		
元本	3,398,842,335	3,302,019,132
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	8,743,824,464	9,211,153,039
元本等合計	12,142,666,799	12,513,172,171
純資産合計	12,142,666,799	12,513,172,171
負債純資産合計	12,236,480,549	13,030,111,879

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。 時価は以下のいずれかから入手した価額によっております。 日本証券業協会発表の店頭売買参考統計値（平均値） 金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用いたしません。） 価格情報会社の提供する価額
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。
3. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
4. 収益及び費用の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。
5. その他	外貨建取引等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号） 第60条及び第61条にしたがって処理しております。

（貸借対照表に関する注記）

項目		2023年11月16日現在	2024年 5月16日現在
1.	投資信託財産に係る元本の状況		
	本書における開示対象ファンドの期首	2022年11月17日	2023年11月17日
	同期首元本額	6,012,724,276円	3,398,842,335円
	同期中追加設定元本額	58,677,869円	6,688,986円
	同期中一部解約元本額	2,672,559,810円	103,512,189円
	元本の内訳		
	ＪＡ海外債券ファンド	55,185,435円	53,585,403円
	ＪＡ資産設計ファンド（安定型）	8,458,069円	7,851,560円
	ＪＡ資産設計ファンド（成長型）	23,889,669円	23,787,505円
	ＪＡ資産設計ファンド（積極型）	22,093,068円	22,985,598円
	ＪＡ海外債券私募ファンド（適格機関投資家専用）	2,403,005,017円	2,394,842,382円
	ＪＡグローバルバランス私募ファンド（適格機関投資家専用）	886,211,077円	798,966,684円
	合計	3,398,842,335円	3,302,019,132円
2.	本書における開示対象ファンドの中間計算期間の末日における受益権の総数	3,398,842,335口	3,302,019,132口
3.	一口当たり純資産額 (一万口当たり純資産額)	3.5726円 (35,726円)	3.7896円 (37,896円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	2023年11月16日現在	2024年 5月16日現在
1．貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2．時価の算定方法	国債証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 地方債証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 特殊債券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 社債券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 為替予約取引 「（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権 短期で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3．金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

（通貨関連）

（2023年11月16日現在）

（単位：円）

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
		うち1年超			

市場取引以外 の取引	為替予約取引 買建				
	米ドル	444,389,299	-	447,699,472	3,310,173
	カナダドル	144,427,894	-	146,442,626	2,014,732
	メキシコペソ	14,146,298	-	14,744,176	597,878
	ユーロ	349,359,255	-	359,688,933	10,329,678
	英ポンド	20,873,787	-	21,357,681	483,894
	スウェーデン クローネ	12,247,588	-	12,396,688	149,100
	ノルウェーク ローネ	202,200	-	209,044	6,844
	デンマークク ローネ	12,192,976	-	12,563,980	371,004
	ポーランドズ ロチ	15,824,810	-	16,401,495	576,685
	オーストラリ アドル	66,745,640	-	68,271,996	1,526,356
	ニュージーラ ンドドル	5,000,788	-	5,077,099	76,311
	シンガポール ドル	63,818,283	-	65,078,134	1,259,851
	イスラエル シェケル	21,183,660	-	22,849,562	1,665,902
	オフショア人 民元	154,669,863	-	157,538,513	2,868,650
	売建				
	米ドル	880,693,042	-	886,633,340	5,940,298
	カナダドル	25,503,022	-	25,634,957	131,935
	メキシコペソ	59,041,716	-	61,819,478	2,777,762
	ユーロ	125,356,190	-	128,947,509	3,591,319
	英ポンド	42,101,040	-	43,464,759	1,363,719
	スウェーデン クローネ	18,614,400	-	19,780,431	1,166,031
	ノルウェーク ローネ	6,570,900	-	6,828,787	257,887
	デンマークク ローネ	1,000,058	-	1,002,221	2,163
	オーストラリ アドル	68,202,190	-	69,339,025	1,136,835
	ニュージーラ ンドドル	47,263,559	-	49,132,575	1,869,016
	シンガポール ドル	15,664,220	-	15,989,988	325,768
	オフショア人 民元	35,072,004	-	35,794,748	722,744

合計	2,650,164,682	-	2,694,687,217	5,951,581
----	---------------	---	---------------	-----------

（2024年 5月16日現在）

（単位：円）

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
		うち1年超			

市場取引以外 の取引	為替予約取引 買建					
	米ドル	1,651,626,639	-	1,622,922,380	28,704,259	
	カナダドル	28,762,024	-	28,808,140	46,116	
	メキシコペソ	30,986,107	-	30,977,611	8,496	
	ユーロ	1,217,147,381	-	1,203,880,160	13,267,221	
	英ポンド	173,620,239	-	173,636,117	15,878	
	スイスフラン	17,941,238	-	17,780,817	160,421	
	スウェーデン クローネ	44,319,787	-	44,680,348	360,561	
	ノルウェーク ローネ	23,603,724	-	23,971,147	367,423	
	デンマークク ローネ	12,902,748	-	12,829,044	73,704	
	ポーランドズ ロチ	56,470,906	-	56,855,660	384,754	
	オーストラリ アドル	120,611,978	-	120,915,771	303,793	
	ニュージーラ ンドドル	74,803,003	-	75,683,472	880,469	
	シンガポール ドル	67,155,081	-	66,605,535	549,546	
	イスラエル シェケル	44,504,215	-	44,387,032	117,183	
	オフショア人 民元	236,882,286	-	233,314,636	3,567,650	
	売建					
	米ドル	2,149,710,717	-	2,109,852,742	39,857,975	
	カナダドル	181,431,891	-	179,175,387	2,256,504	
	メキシコペソ	129,373,237	-	128,752,414	620,823	
	ユーロ	732,913,529	-	727,513,784	5,399,745	
	英ポンド	110,262,840	-	109,326,444	936,396	
	スウェーデン クローネ	93,485,500	-	94,341,220	855,720	
	ノルウェーク ローネ	9,339,000	-	9,513,504	174,504	
	ポーランドズ ロチ	18,320,381	-	18,585,919	265,538	
	オーストラリ アドル	112,292,650	-	112,669,171	376,521	
	ニュージーラ ンドドル	91,458,164	-	92,147,364	689,200	
	シンガポール ドル	6,403,130	-	6,408,779	5,649	
		8,112,226	-	8,150,161	37,935	

	イスラエル シェケル オフショア人 民元	158,234,091	-	155,798,988	2,435,103
合計		7,602,674,712	-	7,509,483,747	5,011,993

（注）時価の算定方法

1. 対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該仲値で評価しております。

為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち受渡日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
- ・ 為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合には、発表されているもので為替予約の受渡日に最も近い先物相場の仲値で評価しております。

2. 対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

3. 上記の算定方法にて、適正な時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。

上記取引でヘッジ会計が適用されているものではありません。

4【委託会社等の概況】

（１）【資本金の額】

資本金の額（2024年6月28日現在）

1,466百万円

発行する株式の総数：92,330株（普通株式92,328株、Ａ種優先株式１株、Ｂ種優先株式１株）

発行済株式総数：29,330株（普通株式29,328株、Ａ種優先株式１株、Ｂ種優先株式１株）

最近５年間における資本金の額の増減

- ・2021年9月3日に普通株式9,072株を消却、またＡ種優先株式１株およびＢ種優先株式１株を発行し２円増資。2021年9月8日に1,953,600,000円減資（資本金1,466百万円）

（注）Ａ種優先株式およびＢ種優先株式は議決権を有しません。

（２）【事業の内容及び営業の状況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託者は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務および第二種金融商品取引業を行っています。

2024年6月28日現在、委託者が運用を行っている証券投資信託は以下のとおりです。

種類別（基本的性格）	本数	純資産総額
株式投資信託	250本	3,664,405百万円
公社債投資信託	65本	271,627百万円
合計	315本	3,936,032百万円

（３）【その他】

- （１）定款の変更、事業譲渡又は事業譲受、出資の状況その他の重要事項について
該当事項はありません。

（２）訴訟事件その他の重要事項

本書提出日現在、委託者およびファンドに重要な影響を与えた事実、または、与えると予想される事実はありません。

5【委託会社等の経理状況】

- 1．当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）により、作成しております。
- 2．当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人により監査を受けております。

（１）【貸借対照表】

		前事業年度 (2023年3月31日)		当事業年度 (2024年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)		金額 (千円)	
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	1		18,266,544		18,932,059
分別金信託			100,000		100,000
1年内償還予定のその他の関係 会社有価証券			1,000,000		-
前払費用			344,367		486,689
未収委託者報酬			1,872,978		1,872,842
未収運用受託報酬	1		2,021,600		2,465,487
未収投資助言報酬	1		982,868		778,017
未収収益			188		-
その他			42,838		76,272
流動資産計			24,631,387		24,711,369
固定資産					
有形固定資産			812,781		790,471
建物	2	578,104		563,553	
器具備品	2	234,676		226,917	
無形固定資産			5,599		4,929
商標権		3,205		2,534	
電話加入権等		2,394		2,394	
投資その他の資産			1,663,601		1,510,178
投資有価証券		645,029		705,848	
長期差入保証金		493,713		367,019	
長期前払費用		6,563		7,346	
会員権		6,700		6,700	
繰延税金資産		511,594		423,264	
固定資産計			2,481,982		2,305,579
資産合計			27,113,369		27,016,949

		前事業年度 (2023年3月31日)		当事業年度 (2024年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)		金額 (千円)	
(負債の部)					
流動負債					
預り金			1,060,990		954,088
未払金			1,327,197		1,425,701
未払収益分配金		13		13	
未払償還金		3,132		3,132	
未払手数料		331,839		344,712	
未払運用委託料		982,867		1,068,239	
その他未払金		9,343		9,603	
未払費用			260,450		271,162
未払法人税等			2,638,545		1,627,180
未払消費税等			572,179		152,836
賞与引当金			390,393		441,655
流動負債計			6,249,758		4,872,626
固定負債					
退職給付引当金			284,250		321,281
役員退任慰労引当金			18,800		28,500
固定負債計			303,050		349,781
負債合計			6,552,808		5,222,407
(純資産の部)					
株主資本					
資本金			1,466,400		1,466,400
利益剰余金					
利益準備金		366,600		366,600	
その他利益剰余金		18,665,225		19,844,054	
別途積立金		8,538,121		8,538,121	
繰越利益剰余金		10,127,103		11,305,932	
利益剰余金計			19,031,825		20,210,654
株主資本計			20,498,225		21,677,054
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金			62,336		117,488
評価・換算差額等計			62,336		117,488
純資産合計			20,560,561		21,794,542
負債純資産合計			27,113,369		27,016,949

（２）【損益計算書】

		前事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)		当事業年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)		金額 (千円)	
営業収益	1				
委託者報酬			8,014,624		7,930,871
運用受託報酬			7,559,541		8,360,110
投資助言報酬			9,671,667		8,342,763
営業収益計			25,245,832		24,633,744
営業費用					
支払手数料			1,267,282		1,347,902
広告宣伝費			32,905		86,891
調査費			1,227,550		1,394,550
調査費		1,180,041		1,340,904	
委託調査費		44,166		50,178	
図書費		3,343		3,467	
委託計算費			403,233		426,485
外部運用委託料			3,997,416		3,886,146
営業雑経費			177,368		202,297
通信費		59,900		63,931	
印刷費		65,113		73,495	
協会費		19,108		18,309	
諸会費		2,252		2,156	
その他営業雑経費		30,993		44,404	
営業費用計			7,105,757		7,344,273
一般管理費					
給料			2,680,109		2,854,618
役員報酬		104,475		104,382	
役員賞与		-		275	
給料・手当		1,803,065		1,861,664	
賞与		373,174		436,683	
賞与引当金繰入額		390,393		441,912	
役員退任慰労引当金繰入額		9,000		9,700	
福利厚生費			336,941		361,825
交際費			14,008		12,822
旅費交通費			60,965		87,097
租税公課			219,965		202,480
不動産賃借料			271,157		431,035
役員退任慰労金			700		-
退職給付費用			96,457		113,823
固定資産減価償却費			154,811		103,935
資産除去債務（履行差額）			128,053		-
業務委託費			771,484		677,733
諸経費			381,294		417,134
一般管理費計			5,115,950		5,262,506
営業利益			13,024,124		12,026,964

		前事業年度 （自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日）		当事業年度 （自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日）	
区分	注記 番号	金額 （千円）		金額 （千円）	
営業外収益					
受取配当金			24,564		66,806
有価証券利息			1,358		433
受取利息			90		105
投資有価証券売却益			8,036		164
投資有価証券償還益			618		-
その他			92		1,572
営業外収益計			34,760		69,082
営業外費用					
支払利息	1		373		-
投資有価証券償還損			2,105		-
その他			10,042		312
営業外費用計			12,521		312
經常利益			13,046,364		12,095,733
特別損失					
固定資産除却損	2		25,679		737
有価証券評価損			-		17,814
特別損失計			25,679		18,551
税引前当期純利益			13,020,684		12,077,181
法人税、住民税及び事業税			4,114,491		3,612,954
法人税等調整額			120,567		63,989
法人税等合計			3,993,923		3,676,944
当期純利益			9,026,760		8,400,237

（３）【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自 2022年4月 1 日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

項目	株主資本					
	資本金	利益剰余金				株主資本合計
		利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合 計	
			別途積立金	繰 越 利 益 金		
当期首残高	1,466,400	74,040	8,538,121	6,964,514	15,576,675	17,043,075
当期変動額						
剰余金の配当				5,571,611	5,571,611	5,571,611
利益準備金の積立		292,560		292,560	—	—
当期純利益				9,026,760	9,026,760	9,026,760
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	292,560	—	3,162,589	3,455,149	3,455,149
当期末残高	1,466,400	366,600	8,538,121	10,127,103	19,031,825	20,498,225

(単位：千円)

項目	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	71,798	71,798	17,114,873
当期変動額			
剰余金の配当			5,571,611
利益準備金の積立			—
当期純利益			9,026,760
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	9,461	9,461	9,461
当期変動額合計	9,461	9,461	3,445,687
当期末残高	62,336	62,336	20,560,561

当事業年度(自 2023年4月 1 日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

項目	株主資本					
	資本金	利益剰余金				株主資本合計
		利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合 計	
			別途積立金	繰越利益金		
当期首残高	1,466,400	366,600	8,538,121	10,127,103	19,031,825	20,498,225
当期変動額						
剰余金の配当				7,221,408	7,221,408	7,221,408
利益準備金の積立						
当期純利益				8,400,237	8,400,237	8,400,237
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	—	—	1,178,829	1,178,829	1,178,829
当期末残高	1,466,400	366,600	8,538,121	11,305,932	20,210,654	21,677,054

(単位：千円)

項目	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	62,336	62,336	20,560,561
当期変動額			
剰余金の配当			7,221,408
利益準備金の積立			
当期純利益			8,400,237
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	55,151	55,151	55,151
当期変動額合計	55,151	55,151	1,233,980
当期末残高	117,488	117,488	21,794,542

重要な会計方針

１．有価証券の評価基準及び評価方法

（１）満期保有目的の債券

償却原価法（定額法）を採用しております。

（２）その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は総平均法により算定）を採用しております。

市場価格のない株式等

総平均法による原価法を採用しております。

２．固定資産の減価償却の方法

（１）有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、建物（附属設備を除く。）及び2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 6～50年

器具備品 3～15年

（２）無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

商標権 10年

３．引当金の計上基準

（１）賞与引当金

従業員に対する賞与の支払いに備えるため、支給見込額を計上しております。

（２）退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

（３）役員退任慰労引当金

役員の退任慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

４．収益の計上基準

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号2021年3月26日）を適用しており、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

注記事項

（貸借対照表関係）

前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
1 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは次のとおりであります。 預金 18,065,313千円 未収運用受託報酬 1,548,805千円 未収投資助言報酬 894,529千円 2 有形固定資産の減価償却累計額 建物 239,244千円 器具備品 148,081千円 合計 387,326千円	1 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは次のとおりであります。 預金 18,671,963千円 未収運用受託報酬 1,593,256千円 未収投資助言報酬 609,237千円 2 有形固定資産の減価償却累計額 建物 18,579千円 器具備品 204,430千円 合計 223,009千円

（損益計算書関係）

前事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)
1 各科目に含まれている関係会社に対するものは次のとおりであります。 営業収益 15,413,517千円 支払利息 186千円 2 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。 器具備品 25,679千円	1 各科目に含まれている関係会社に対するものは次のとおりであります。 営業収益 12,563,442千円 支払利息 - 千円 2 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。 器具備品 737千円

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

１．発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
発行済株式				
普通株式（株）	29,328	-	-	29,328
A種優先株式（株）	1	-	-	1
B種優先株式（株）	1	-	-	1
合計（株）	29,330	-	-	29,330

２．配当に関する事項

(１) 配当金支払額

決 議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (千円)	基 準 日	効力発生日
2022年6月27日 定時株主総会	A種優先株式	4,916,947	4,916,947	2022年3月31日	2022年6月28日
	B種優先株式	654,664	654,664	2022年3月31日	2022年6月28日

(２) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決 議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (千円)	基 準 日	効力発生日
2023年6月26日 定時株主総会	A種優先株式	6,401,056	利益剰余金	6,401,056	2023年3月31日	2023年6月27日
	B種優先株式	820,352	利益剰余金	820,352	2023年3月31日	2023年6月27日

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

１．発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
発行済株式				
普通株式（株）	29,328	-	-	29,328
A種優先株式（株）	1	-	-	1
B種優先株式（株）	1	-	-	1
合計（株）	29,330	-	-	29,330

２．配当に関する事項

（１）配当金支払額

決 議	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額（千円）	基 準 日	効力発生日
2023年6月26日 定時株主総会	A種優先株式	6,401,056	6,401,056	2023年3月31日	2023年6月27日
	B種優先株式	820,352	820,352	2023年3月31日	2023年6月27日

（２）基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議予定	株式の種類	配当金の総額 （千円）	配当の原資	1株当たり 配当額 （千円）	基 準 日	効力発生日
2024年6月24日 定時株主総会	A種優先株式	5,916,455	利益剰余金	5,916,455	2024年3月31日	2024年6月25日
	B種優先株式	803,734	利益剰余金	803,734	2024年3月31日	2024年6月25日

（リース取引関係）

前事業年度 2023年3月31日	当事業年度 2024年3月31日
該当事項はありません。	該当事項はありません。

（金融商品関係）

１．金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については主に安全性の高い金融商品により行っております。なお、投資有価証券に含まれる投資信託については、市場リスクに晒されておりますが、その取得については、社内規定により、取得金額の上限を定めるとともに、当社が設定する投資信託について、当初設定時における取得、または商品性を適正に維持するための取得に限定しており、毎月時価の把握を行っております。

２．金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

前事業年度（2023年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)有価証券及び投資有価証券 其他有価証券（*1）	643,342	643,342	-
(2)その他の関係会社有価証券 満期保有目的の債券（*2）	1,000,000	999,925	75
資産計	1,643,342	1,643,267	75

（*）「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未収運用受託報酬」、「未収投資助言報酬」、「未払法人税等」については、現金であること、あるいは短期間で決済されるため、時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

（*1）市場価格のない株式等は、「（1）有価証券及び投資有価証券 其他有価証券」には含まれておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は1,687千円であります。

（*2）1年内償還予定のその他の関係会社有価証券を含んでおります。

当事業年度（2024年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)有価証券及び投資有価証券 其他有価証券（*1）	704,161	704,161	-
(2)その他の関係会社有価証券 満期保有目的の債券	-	-	-
資産計	704,161	704,161	-

（*）「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未収運用受託報酬」、「未収投資助言報酬」、「未払法人税等」については、現金であること、あるいは短期間で決済されるため、時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

（*1）市場価格のない株式等は、「（1）有価証券及び投資有価証券 其他有価証券」には含まれておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は1,687千円であります。

３．金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項

当事業年度におけるレベルごとの時価は次のとおりであります。

金融商品の時価は、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル 1 の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル 2 の時価：レベル 1 のインプット以外の直接または間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル 3 の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価で貸借対照表に計上している金融商品

(単位：千円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
有価証券及び投資有価証券				
その他の有価証券				
投資信託	-	704,161	-	704,161
資産計	-	704,161	-	704,161

(注) 時価の算定に用いた評価技法および時価の算定に係るインプットの説明

投資信託

当社の保有している投資信託は、市場での取引頻度が低く、活発な市場における相場価格とは認められないため、その時価をレベル2の時価に分類しております。なお、投資信託の時価は、基準価額によっております。

(2) 時価で貸借対照表計上に計上している金融商品以外の金融商品

該当事項はありません。

4. 金銭債権および満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度(2023年3月31日)

(単位：千円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	18,266,544	-	-	-
未収委託者報酬	1,872,978	-	-	-
未収運用受託報酬	2,021,600	-	-	-
未収投資助言報酬	982,868	-	-	-
有価証券及び投資有価証券 その他の有価証券のうち満期 のあるもの	-	-	105,317	55,660
その他の関係会社有価証券 満期保有目的の債券	1,000,000	-	-	-
合計	24,143,992	-	105,317	55,660

当事業年度(2024年3月31日)

(単位：千円)

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	18,932,059	-	-	-
未収委託者報酬	1,872,842	-	-	-
未収運用受託報酬	2,465,487	-	-	-
未収投資助言報酬	778,017	-	-	-
有価証券及び投資有価証券 その他の有価証券のうち満期 のあるもの	-	-	140,214	-
その他の関係会社有価証券 満期保有目的の債券	-	-	-	-
合計	24,048,407	-	140,214	-

５．社債、長期借入金、リース債務及びその他の有利子負債の決済日後の返済予定

前事業年度（2023年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（2024年3月31日）

該当事項はありません。

（有価証券関係）

１．満期保有目的の債券

前事業年度（2023年3月31日）

（単位：千円）

	種類	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	金融債	-	-	-
	小計	-	-	-
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	金融債	1,000,000	999,925	75
	小計	1,000,000	999,925	75
合計		1,000,000	999,925	75

当事業年度（2024年3月31日）

該当事項はありません。

２．その他有価証券

前事業年度（2023年3月31日）

（単位：千円）

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	その他	524,473	410,805	113,668
	小計	524,473	410,805	113,668
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	その他	118,869	142,690	23,820
	小計	118,869	142,690	23,820
合計		643,342	553,495	89,847

（注）時価が取得原価に比べて著しく下落したものについては、回復可能性があるとは判断される銘柄を除き、当該時価をもって貸借対照表価額とするとともに、評価差額を当事業年度の損失として処理（以下、「減損処理」という。）することとしておりますが、当事業年度においては、該当事項はありません。

また、時価が著しく下落したと判断するための根拠を定めており、その概要は、原則として以下のとおりであります。

時価が取得原価の50%以下の銘柄

時価が取得原価の50%超70%以下の水準で一定期間推移している銘柄

当事業年度（2024年3月31日）

（単位：千円）

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	その他	587,603	400,805	186,798
	小計	587,603	400,805	186,798
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	その他	116,557	134,016	17,458
	小計	116,557	134,016	17,458
合計		704,161	534,821	169,339

（注）時価が取得原価に比べて著しく下落したものについては、回復可能性があるとは判断される銘柄を除き、当該時価をもって貸借対照表価額とするとともに、評価差額を当事業年度の損失として処理（以下、「減損処理」という。）することとしておりますが、当事業年度においては、投資有価証券について17,814千円減損処理を行っています。

また、時価が著しく下落したと判断するための根拠を定めており、その概要は、原則として以下のとおりであります。

時価が取得原価の50%以下の銘柄

時価が取得原価の50%超70%以下の水準で一定期間推移している銘柄

３．売却したその他有価証券

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
その他	54,000	8,036	-
合計	54,000	8,036	-

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
その他	10,164	164	-
合計	10,164	164	-

（デリバティブ取引関係）

前事業年度（2023年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（2024年3月31日）

該当事項はありません。

（退職給付関係）

1．採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として退職一時金制度（非積立型制度であります。）を採用しております。

当社が有する退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2．確定給付制度

(1) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表（単位：千円）

	前事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)
退職給付引当金の期首残高	240,550	284,250
退職給付費用	45,110	50,391
退職給付の支払額	1,410	13,360
退職給付引当金の期末残高	284,250	321,281

(2) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表（単位：千円）

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
非積立型制度の退職給付債務	284,250	321,281
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	284,250	321,281
退職給付引当金	284,250	321,281
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	284,250	321,281

(3) 退職給付費用

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)
簡便法で計算した退職給付費用	45,110	50,391

（税効果会計関係）

（単位：千円）

前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)																																																																												
1．繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 繰延税金資産 <table> <tr><td>ソフトウェア償却超過額</td><td>78,112</td></tr> <tr><td>敷金償却否認</td><td>30,554</td></tr> <tr><td>本社移転費用否認</td><td>74,687</td></tr> <tr><td>会員権評価損否認</td><td>2,591</td></tr> <tr><td>電話加入権評価損</td><td>1,395</td></tr> <tr><td>繰延資産償却超過額</td><td>619</td></tr> <tr><td>賞与引当金</td><td>119,538</td></tr> <tr><td>役員退任慰労引当金</td><td>5,756</td></tr> <tr><td>退職給付引当金</td><td>87,037</td></tr> <tr><td>投資有価証券減損</td><td>-</td></tr> <tr><td>その他有価証券評価差額金</td><td>7,293</td></tr> <tr><td>未払事業税</td><td>127,691</td></tr> <tr><td>その他</td><td>11,122</td></tr> <tr><td>繰延税金資産小計</td><td>546,399</td></tr> <tr><td>評価性引当額</td><td>-</td></tr> <tr><td>繰延税金資産合計</td><td>546,399</td></tr> 繰延税金負債 <table> <tr><td>その他有価証券評価差額金</td><td>34,805</td></tr> <tr><td>繰延税金負債合計</td><td>34,805</td></tr> <tr><td>繰延税金資産の純額</td><td>511,594</td></tr> </table> </table>	ソフトウェア償却超過額	78,112	敷金償却否認	30,554	本社移転費用否認	74,687	会員権評価損否認	2,591	電話加入権評価損	1,395	繰延資産償却超過額	619	賞与引当金	119,538	役員退任慰労引当金	5,756	退職給付引当金	87,037	投資有価証券減損	-	その他有価証券評価差額金	7,293	未払事業税	127,691	その他	11,122	繰延税金資産小計	546,399	評価性引当額	-	繰延税金資産合計	546,399	その他有価証券評価差額金	34,805	繰延税金負債合計	34,805	繰延税金資産の純額	511,594	1．繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 繰延税金資産 <table> <tr><td>ソフトウェア償却超過額</td><td>129,397</td></tr> <tr><td>敷金償却否認</td><td>1,714</td></tr> <tr><td>本社移転費用否認</td><td>-</td></tr> <tr><td>会員権評価損否認</td><td>2,591</td></tr> <tr><td>電話加入権評価損</td><td>1,395</td></tr> <tr><td>繰延資産償却超過額</td><td>5,300</td></tr> <tr><td>賞与引当金</td><td>135,235</td></tr> <tr><td>役員退任慰労引当金</td><td>8,726</td></tr> <tr><td>退職給付引当金</td><td>98,376</td></tr> <tr><td>投資有価証券減損</td><td>5,454</td></tr> <tr><td>その他有価証券評価差額金</td><td>5,345</td></tr> <tr><td>未払事業税</td><td>83,444</td></tr> <tr><td>その他</td><td>3,479</td></tr> <tr><td>繰延税金資産小計</td><td>480,462</td></tr> <tr><td>評価性引当額</td><td>-</td></tr> <tr><td>繰延税金資産合計</td><td>480,462</td></tr> 繰延税金負債 <table> <tr><td>その他有価証券評価差額金</td><td>57,197</td></tr> <tr><td>繰延税金負債合計</td><td>57,197</td></tr> <tr><td>繰延税金資産の純額</td><td>423,264</td></tr> </table> </table>	ソフトウェア償却超過額	129,397	敷金償却否認	1,714	本社移転費用否認	-	会員権評価損否認	2,591	電話加入権評価損	1,395	繰延資産償却超過額	5,300	賞与引当金	135,235	役員退任慰労引当金	8,726	退職給付引当金	98,376	投資有価証券減損	5,454	その他有価証券評価差額金	5,345	未払事業税	83,444	その他	3,479	繰延税金資産小計	480,462	評価性引当額	-	繰延税金資産合計	480,462	その他有価証券評価差額金	57,197	繰延税金負債合計	57,197	繰延税金資産の純額	423,264
ソフトウェア償却超過額	78,112																																																																												
敷金償却否認	30,554																																																																												
本社移転費用否認	74,687																																																																												
会員権評価損否認	2,591																																																																												
電話加入権評価損	1,395																																																																												
繰延資産償却超過額	619																																																																												
賞与引当金	119,538																																																																												
役員退任慰労引当金	5,756																																																																												
退職給付引当金	87,037																																																																												
投資有価証券減損	-																																																																												
その他有価証券評価差額金	7,293																																																																												
未払事業税	127,691																																																																												
その他	11,122																																																																												
繰延税金資産小計	546,399																																																																												
評価性引当額	-																																																																												
繰延税金資産合計	546,399																																																																												
その他有価証券評価差額金	34,805																																																																												
繰延税金負債合計	34,805																																																																												
繰延税金資産の純額	511,594																																																																												
ソフトウェア償却超過額	129,397																																																																												
敷金償却否認	1,714																																																																												
本社移転費用否認	-																																																																												
会員権評価損否認	2,591																																																																												
電話加入権評価損	1,395																																																																												
繰延資産償却超過額	5,300																																																																												
賞与引当金	135,235																																																																												
役員退任慰労引当金	8,726																																																																												
退職給付引当金	98,376																																																																												
投資有価証券減損	5,454																																																																												
その他有価証券評価差額金	5,345																																																																												
未払事業税	83,444																																																																												
その他	3,479																																																																												
繰延税金資産小計	480,462																																																																												
評価性引当額	-																																																																												
繰延税金資産合計	480,462																																																																												
その他有価証券評価差額金	57,197																																																																												
繰延税金負債合計	57,197																																																																												
繰延税金資産の純額	423,264																																																																												
2．法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳 当事業年度は、法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。	2．法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳 当事業年度は、法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。																																																																												

（資産除去債務関係）

前事業年度 （自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日）	当事業年度 （自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日）
本社は不動産賃貸借契約により、退去時における原状回復に係る債務を有しております。 当該賃貸借契約については、敷金が資産計上されておりますので、「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」第9項、第15項に基づき、資産除去債務の負債計上及びこれに対応する除去費用の資産計上に代えて、原状回復に係る費用を敷金の回収が見込めない金額として合理的に見積もり、そのうち当事業年度の負担に属する金額を費用に計上しております。	本社は不動産賃貸借契約により、退去時における原状回復に係る債務を有しております。 当該賃貸借契約については、敷金が資産計上されておりますので、「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」第9項、第15項に基づき、資産除去債務の負債計上及びこれに対応する除去費用の資産計上に代えて、原状回復に係る費用を敷金の回収が見込めない金額として合理的に見積もり、そのうち当事業年度の負担に属する金額を費用に計上しております。

（収益認識に関する注記）

当社は、投資運用業により委託者報酬、運用受託報酬を稼得しております。

1. 委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を投資信託によって主に年2回、もしくは年1回受取ります。当該報酬は投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。
2. 運用受託報酬は、投資顧問契約で定められた投資顧問報酬に基づき、確定した報酬を顧問口座によって主に年4回、もしくは年2回受取ります。当該報酬は顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。
3. 投資助言報酬は、投資助言契約で定められた投資助言報酬に基づき、確定した報酬を顧問口座によって主に年1回受取ります。当該報酬は顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。

当事業年度の顧客との契約から生じる収益を分解した情報は損益計算書記載の通りです。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

当社は、投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

当社は、投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

投資信託委託会社としての投資運用業、投資一任契約及び投資助言契約に係る投資運用業それぞれの営業収益は損益計算書に記載されております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

（単位：千円）

日本	ケイマン	合計
23,537,958	1,707,874	25,245,832

（注）営業収益の地域区分は、契約相手方の所在地（ファンドの場合は組成地）を基礎として分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

顧客の名称	営業収益	関連するセグメント名
農林中央金庫	16,103,493	投資運用業
全国共済農業協同組合連合会	2,486,311	投資運用業

（注）営業収益は、当社が直接募集により販売した投資信託に係る委託者報酬、投資一任契約による運用受託報酬及び投資助言契約による投資助言報酬を顧客ごとに集計しております。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1．製品及びサービスごとの情報

投資信託委託会社としての投資運用業、投資一任契約及び投資助言契約に係る投資運用業それぞれの営業収益は損益計算書に記載されております。

2．地域ごとの情報

(1)営業収益

（単位：千円）

日本	ケイマン	合計
21,763,842	2,869,902	24,633,744

（注）営業収益の地域区分は、契約相手方の所在地（ファンドの場合は組成地）を基礎として分類しております。

(2)有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3．主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

顧客の名称	営業収益	関連するセグメント名
農林中央金庫	13,144,143	投資運用業
全国共済農業協同組合連合会	2,259,461	投資運用業

（注）営業収益は、当社が直接募集により販売した投資信託に係る委託者報酬、投資一任契約による運用受託報酬及び投資助言契約による投資助言報酬を顧客ごとに集計しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれんの発生益に関する情報]

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

（関連当事者情報）

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

１．関連当事者との取引

親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	農林中央金庫	東京都千代田区	4,040,198	金融業	被所有 直接 66.66%	当社投資信託の購入・募集・販売の取扱、投資一任契約等の締結、投資助言契約の締結 役員の兼任	運用受託報酬の受取(注1)	5,822,158	未収投資一任報酬	1,548,805
							投資助言報酬の受取(注1)	9,591,359	未収投資助言報酬	894,529

（注1）取引条件は、アームズレングスルールにおけるガイドラインに従い、一般取引条件を勘案した個別契約に基づき決定しております。

２．親会社又は重要な関連会社に関する注記

（１）親会社情報

農林中央金庫（非上場）

（２）重要な関連会社の要約財務情報

該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

１．関連当事者との取引

親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(百万円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	農林中央金庫	東京都千代田区	4,040,198	金融業	被所有 直接 66.66%	当社投資信託の購入・募集・販売の取扱、投資一任契約等の締結、投資助言契約の締結 役員の兼任	運用受託報酬の受取(注1)	4,374,116	未収投資一任報酬	1,593,256
							投資助言報酬の受取(注1)	8,189,326	未収投資助言報酬	609,237

（注1）取引条件は、アームズレングスルールにおけるガイドラインに従い、一般取引条件を勘案した個別契約に基づき決定しております。

２．親会社又は重要な関連会社に関する注記

（１）親会社情報

農林中央金庫（非上場）

（２）重要な関連会社の要約財務情報

該当事項はありません。

（１株当たり情報）

	前事業年度 （自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日）	当事業年度 （自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日）
１株当たり純資産額	345,775円28銭	347,655円80銭
１株当たり当期純利益金額	- 銭	- 銭

（注）１．潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

２．１株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 （2023年3月31日）	当事業年度 （2024年3月31日）
純資産の部の合計額（千円）	20,560,561	21,794,542
純資産の部の合計額から控除する金額 （千円）	10,419,663	11,598,492
（うちＡ種優先株式優先配当額・Ｂ種 優先株式優先配当額）	（9,026,760）	（8,400,237）
（うちＡ種優先株式未分配配当額・Ｂ 種優先株式未分配配当額）	（1,392,902）	（3,198,255）
普通株式に係る期末の純資産額 （千円）	10,140,897	10,196,049
１株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数（株）	29,328	29,328

３．１株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 （自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日）	当事業年度 （自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日）
当期純利益金額（千円）	9,026,760	8,400,237
普通株主に帰属しない金額（千円）	9,026,760	8,400,237
（うちＡ種優先株式優先配当額・Ｂ種 優先株式優先配当額）	（9,026,760）	（8,400,237）
普通株式に係る当期純利益金額 （千円）	-	-
普通株式の期中平均株式数（株）	29,328	29,328

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

独立監査人の監査報告書

2024年6月18日

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所
指定有限責任社員
業務執行社員
指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 長尾 充 洋
公認会計士 佐久間 啓

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている農林中金全共連アセットマネジメント株式会社の2023年4月1日から2024年3月31日までの第31期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社の2024年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）１．上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

２．XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2024年8月9日

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 山口 健 志
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 佐 藤 孝
業務執行社員

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている「JA資産設計ファンド（安定型）」の2023年11月17日から2024年5月16日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、「JA資産設計ファンド（安定型）」の2024年5月16日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2023年11月17日から2024年5月16日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。

- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）１．上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

２．XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2024年8月9日

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 山口 健志
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 佐藤 孝
業務執行社員

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている「JA資産設計ファンド（成長型）」の2023年11月17日から2024年5月16日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、「JA資産設計ファンド（成長型）」の2024年5月16日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2023年11月17日から2024年5月16日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。

- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）１．上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

２．XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2024年8月9日

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 山口 健志
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 佐藤 孝
業務執行社員

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている「JA資産設計ファンド（積極型）」の2023年11月17日から2024年5月16日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、「JA資産設計ファンド（積極型）」の2024年5月16日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2023年11月17日から2024年5月16日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。

- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）１．上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

２．XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。